

- 1 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう
- 2 学習材名 『すがたをかえる大豆』『食べ物のひみつ教えます』（光村三年下）
- 3 単元について

本学級の児童は、これまでに、「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」で、「初め」「中」「終わり」といったまとまりや、「中」の事例の述べ方に注意して読むことを学んだ。また、「仕事のくふう、見つけたよ」では、組み立てを考えて報告文を書く活動を行った。

本単元では、「すがたをかえる大豆」を読んで説明のしかたの工夫を理解し、それらを活用して、児童自身が人に伝えたいと思う食べ物について、説明する文章を書くことをねらいとしている。さらに、児童の実態から、単元の中で互いの考えや発表を聞き合う機会を設け、よさを認め合うことができるようにしたい。

本単元に関わる指導事項は、読むこと「ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。」、書くこと「ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。」である。

指導にあたっては以下の2点に留意する。

#### 手立て1に関わって

- ・学習のゴールを、選んだ食べ物について説明する文を紹介し合う「〇〇博士ちゃんになろう」として、興味をもって学習に臨むことができるようにする。
- ・単位時間の課題に沿って振り返りができるように観点を示す。

#### 手立て2に関わって

- ・対話的活動の前には、話す観点や聞く観点を提示し、互いの考えを聞き合うようにする。
- ・対話的活動の際には、肯定的な発言を取り上げ、教師が児童間の会話をつなぐようにする。

国語科における児童の実態は以下のとおりである。

	国語科における実態	個に応じた支援
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読むことはできるが、書くことは苦手。</li> <li>・話を最後まで聞かずに発言することが多い。</li> <li>・自分の書いた字を読めないときがある。</li> <li>・B児の考えに対し、肯定的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に書き、最後まで話を聞くことができるように、そばで確認したり、落ち着いて活動できるように声掛けをしたりする。</li> <li>・肯定的なつぶやきを取り上げるようにする。</li> </ul>
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読むことが苦手である。語彙も少ない。</li> <li>・話を最後まで聞いてから活動に入ることができる。</li> <li>・主述にねじれのある文を書くことがある。</li> <li>・A児の考えに対し、否定的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋や話型、肯定的な感想を例示した掲示物等を活用させ、自信をもたせ、肯定的に話せるようにする。</li> <li>・教師を介して、A児との発言のやりとりができるようにする。</li> </ul>

#### 4 単元の目標

- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知] (2)イ
- ◎ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思] B(1)ウ
- 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 [思] C(1)ア
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解し使っている。 (2)イ	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 B(1)ウ ②「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 C(1)ア	①積極的に説明される内容とそれを支える事例との関係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、文章の説明の工夫を見つけてそれをいかして書こうとしている。

6 単元の指導計画（全14時間扱い）

時	学習活動	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点	評価【 】[方法]
1	○学習のゴールを示し、これからの学習の見通しをもつ。 ○「すがたをかえる大豆」を読み、大体の内容を捉える。	◆学習計画を立て、学習のゴールを共有する。（手立て1） ・学習のゴールを「博士ちゃんになろう」とし、意欲付けを図る。 ・学習内容をつかむことができるように、加工食品の写真を提示する。 ・単元の学習計画を掲示する。	
れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう。			
2	○段落相互の關係に着目して、文章を「初め」「中」「終わり」に分け、「中」で挙げられている事例を整理する。	・「初め」「中」「終わり」に分けることができるように、各段落の役割を確認する。 ・「くふう」という言葉に着目させることで、整理する内容をつかませるようにする。	【思①】段落相互の關係に着目しながら、説明される内容とそれを支える事例との關係などについて、叙述をもとに捉えているか確認する。 [発言・記述] 【知】調べるために本を活用する方法を知り、本が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いているか確認する。 [観察・記述]
3	○大豆に手を加えるときの言葉を調べて意味を確かめる。 ○文章の説明内容に合った「問い」を考える。	・国語辞典を活用させ、調べるようにする。 ・「問い」について考えることで文章全体や段落の中心を捉えることができるようにする。	
4	○「中」の書かれ方について考える。	・各段落の大事な文や段落の順序性を考えさせることで、使われている言葉に着目できるようにする。	
5	○筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。	◆筆者の説明の仕方の工夫を掲示物に残す。（手立て1）	
6	○他の食べ物を扱った本を読み、内容や説明の工夫について感想を伝え合う。	◆話す観点として、初めて知ったこと、知らせたいことを話型を活用し、伝えることができるようにする。（手立て2） ・「組み立て」「言葉の使い方」「写真の使い方」について説明の工夫をまとめることを確認する。 ・感想の話し方を例示した掲示物を活用させることで、肯定的な内容を話すことができるようにする。	
7	○ここまでの学習を振り返る。	・「科学読み物での調べ方」を参照し、本を活用して調べる方法を提示する。	
8	○これから学習する内容に見通しをもつ。	・作例における説明の工夫を確認させ、今後の学習の見通しをもつことができるようにする。	【思①】説明する内容とそれを支える事例との關係を明確にして書き表し方を工夫しているか確認する。 [記述] 【主①】積極的に事例の書き表し方を工夫し、食べ物について説明する文章を書こうとしているか確認する。 [発言・記述]
9	○食べ物を決めて調べる。	・「米」「麦」「トウモロコシ」「牛乳」「魚」「いも」から選ぶよう提案する。 ・図や表にして整理する方法を知らせる。	
10	○調べた内容を整理する。		
11	○組み立てと例の書き方を考える。	・「すがたをかえる大豆」の学習を掲示物を活用し想起させ、段落の分け方や例の順序を考えることができるようにする。	
12	○文章の下書きをする。		
13	○清書をする。		
14 本時	○選んだ食べ物について説明する文章を紹介し合い、書き方や内容の両面から、互いの文章のよいところについて、伝え合う。	◆教師を介することで、感想を伝え合うことができるようにする。（手立て2） ・発表の進め方や聞く観点を示し、教師を介して、児童同士の対話をつなぐ。 ・話型を活用させることで、自信をもって発表できるようにする。	

## 7 本時の指導

### (1) 目標

選んだ食べ物について説明する文章を紹介し合い、書き方や内容の両面から、互いの文章のよいところについて、伝え合うことができる。

### (2) 本時の評価規準と具体的評価規準

選んだ食べ物について説明する文章を紹介し合い、書き方や内容の両面から、互いの文章のよいところについて、伝え合っている。

具体的な児童の姿	Bに至らせるための支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞いて、「初めて知ったこと」「説明の工夫」について、感想やよさを伝えている。</li> <li>・事例を挙げて、分かりやすく説明するための工夫について気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の進め方、聞く観点を提示し、教師を介して、児童同士の対話をつなげていくようにする。</li> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した「説明のしかた」（例の書かれ方）について、掲示物を使って、振り返ることができるようにする。</li> </ul>

### (3) 展開

	学習活動 ・児童の反応 <目的:>児童と共有する 対話的活動の目的	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点【評価】〔評価方法〕	
		A児	B児
導入 5分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。	◆学習計画を掲示しておき、本時が学習のゴールとなることを意識させて、本時の学習に入るようにする。(手立て1) ・食べ方の工夫ベスト3について書いたことを確認する。	
展開 30分	3 発表の進め方と聞くときに気を付けることを知る。 ・絵や写真を見せながら発表できるようがんばりたいな。 ・聞く人に伝わる声の大きさと速さで話したいな。 ・「例の挙げ方」「ベスト3の順序」「絵や写真」について感想を話すことができるように、しっかり聞きたいな。 4 選んだ食材の「食べ方のくふうベスト3」を発表し合う。 <目的:考えを広げる> ・「発表のしかた」を使って自分の発表をしたいな。 ・「感想の話し方」を使って、感想を伝えたいな。	・発表の際は食べ物や加工食品の絵や写真を、聞く人に見せながら発表することを確認する。 ・発表を聞いた後には、「伝えたいことに合った例を挙げているか」「例を挙げる順序」「絵や写真の示し方」など説明のしかたについて感想を伝えることができるように、聞く観点を示す。 ・肯定的な感想の言い方の例を掲示物で振り返るようにする。 ◆発表後は教師を介して、感想を伝え合うようにする。(手立て2) ・落ち着いて発表できるようにそばで声掛けする。 ・B児に対するA児のつぶやきに肯定的に反応する。 ・発表前に、はっきりと話せるように励ます。 ・教師が介して、A児との発言のやりとりをする。 ・発表に対し、反応を返させることで、発表した児童が達成感を感じられるように、また、交流が和やかになるように、教師が対話をコーディネートする。 ・B児から発表することで、肯定的な感想を話しやすくする。 【思】紹介し合う活動を通して、分かりやすい説明にするための工夫について理解を深め、友達や自分の発表のよいところを見つけているか確認する。〔発言〕	
終末 10分	5 学習の振り返りをする。	・食べ物の工夫ベスト3を発表したこと、友達の発表を聞いて質問や感想を伝えたことを振り返るようにする。 ・考えを伝え合う姿の良かったところを知らせる。 ・P55の「たいせつ」を確かめる。	
〔期待する振り返りの例〕 ・選んだ食材の絵や写真を見せながら、食べ方の工夫ベスト3を紹介することができた。 ・食べ方の工夫を分かりやすい例を挙げて説明することができた。(していた。) ・友達が紹介した食材を、調べてみたいと思った。			

(4) 板書計画

食べ物のひみつを教えます

か  
〇〇はかせちゃんになろう。

えらんだもの

発表  
・ 絵や写真を見せながら  
・ 声の大きさ、速さ

聞くとき  
・ 伝えたいことに合ったれい、じゅんじょ  
・ 分かりやすいくふう  
・ 調べてみたい

たいせつ  
・ まとまりごとに、段落を分ける。  
・ 伝えたいことに合うれいをあげる。  
・ れいをあげるじゅんじょや、絵や写真のしめし方をくふうする。

感想

(5) 活用する掲示物

発表のしかた

① これから、□□はかせの「おいしく食べるくふうベスト3」の発表をはじめます。

② ぼくは、□□をえらんだ理由、くわしく調べました。

③ それでは、発表します。

・ □□そのもののしようかい。きそちしき。  
・ 第3位は、くふうです。どんなことをすると何にへんしんします。  
・ 第2位は、くふうです。どんなことをすると何にへんしんします。  
・ そして、第1位は、くふうです。どんなことをすると何にへんしんします。  
・ このように、□□は、いろいろなすがたにへんしんして、みんなに食べられてるのです。

④ □□のすばらしさをアピールする。

⑤ これで、□□はかせの発表を終わります。

⑥ しつもんや感想はありませんか？

感想の話し方

ぼくは、□□のところ

★が、よく分かりました。

★を、ていねいに調べていると思いました。

★を、もっと調べてみたいです。

★が、面白いと思いました。

★を、もっと知りたくなりました。

★が、はじめて知りました。